

今年も戸隠キャンプが出来ました。写真はグループ行動のおやつ作りです。



おしゃべり

No.273
平成 27 年 9 月 10 日発行
社会福祉法人円福会
円福寺愛育園
園長 藤本光世

世界に誇れる愛育園職員

園長 藤本光世



今年も、好天に恵まれて戸隠イースタンキャンプ場で1泊のキャンプが出来ました。4回目です。

新たにテントを購入してテント張りから始まったキャンプは、子ども達が十分楽しみ満足した行事になりました。キャンプが終わった時に、楽しかったね、2学期が始まったら、猛然とスタートしようねと言うと、子ども達全員の表情が輝き顔になっていました。

愛育園の行事はどんな行事でも、子ども達が満足し、満たされた心で園や学校の生活に取り組むような、良い意識づけにつながることを願っています。行事を通して子ども達が自信を持ち、自己変革して向上するように願っています。職員と子ども達の人間関係が深まり、普段の生活の職員の

声掛けが、子どもの心にすっと入るような行事になるように願っています。

それには、職員が行事に願いを持つこと、行事を通した子どもの変化を喜ぶこと、子どもの喜びを自分の喜びにする心があることが重要です。それがあれば、子ども達が自然と動くような仕掛けを一所懸命に考えます。創りだします。そして十分な準備をします。職員は行事に大きなエネルギーを注ぐことができるのです。

集団で創る行事は、家庭の行事より楽しいのです。大きなキャンプファイアーを囲んで踊りまくること、名前あてゲームやオセロゲームなどの集団ゲームを楽しむこと、班の旗を作成してキャンプへの思いを語った開村式などが家庭でできるでしょうか。集団生活を生かすことこそ、施設の子育てでしかできない心の満足につながると思います。

このような集団生活の利点を生かすことができるようになった、当園の職員を誇りに思っています。子ども達の落ち着いた根底には、このような行事の創造があります。年間に途切れることなく行事を創りだして、子ども達を巻き込み、子ども達の意欲を引き出している職員の姿勢があります。子ども達の為に全力を尽くす当園の職員を私は誇りに思っています。

2015 戸隠キャンプ

副園長 青谷 幸治

今年も 8 月 9～10 日の一泊で戸隠にキャンプへ行ってきました。昨年は台風の影響もあり中止も検討しましたが、園内で何とかキャンプを行うことができました。

園内でも楽しかったという声も子どもたちから聞かれましたが、やはり大自然の中で仲間と一緒に過ごしアウトドアを楽しむことは格別なもので皆で晴れることを祈りました。当日は、子どもたちの行いも良かったのか2日間に渡り快晴でした。

キャンプ系の準備が早く昨年以上に内容の濃いキャンプになりました。

昨年以上に良かったこと。①5月頃からキャンプの下見を開始し準備が早かったこと。②7月に入りすぐにキャンプの班を発表したことで、子どもたちのキャンプに対する期待が高まり、大きな目標ができたこと③高校3年生と職員で夜の時間を利用して語り合った「語り場」では高校3年生の心からの言葉が聞けて職員との人間関係をより深いものにできたこと。④なんといっても全員が準備から片付けまで率先して行うことができ、自分たちの行事としての意識が高まったこと。

毎年行うキャンプではありますが、マンネリせずに行えているのは毎年、思考を凝らして頑張っている先生方と自分の行事として楽しむことができている子どもたちだからだと思います。また近年、キャンプファイアーを禁止しているキャンプ場が多い中で今回、戸隠イースタンキャンプ場で思い通りのキャンプをさせていただけたことに感謝したいと思います。そしてまた来年、子どもたちの



心に残るキャンプができるよう取り組んでいきたいと思います。

愛育園キャンプ

保育士 富沢正樹

8月9、10日、戸隠イースタンキャンプ場にて、園の児童と職員で一泊二日の愛育園キャンプを行ってきました。

毎年恒例のキャンプ行事を子ども達はとても楽しみにしています。去年は、台風の影響でキャンプ前日という所まで来てキャンプ場に行く事は出来ず、急遽、園内でのキャンプに切り替えました。

去年は去年で、そんな大きなアクシデントにもめげずに、愛育園をキャンプ場に見立てて、屋外での食事作りや、キャンプファイヤーならぬキャンドルファイヤー、さらに肝試しまでを半日で準備し、キャンプを成立させてしまう子ども達の凄さを目の当たりにすることができ、また、子ども達自身の大きな成長の場になった良いキャンプでした。

ですが、子ども達や職員の心の中には、やはりキャンプはキャンプ場で、という気持ちがありまして、今年は絶対キャンプ場に行きたい！と当日の天気を心配しながら準備を進めました。すると、願いが通じたか、当日は二日間とも天気が良く、子ども達は二年振りのキャンプ場でのキャンプを満喫することができました。

愛育園のキャンプの一番素敵な所は、準備や計画を子ども達が率先して行う所だと思います。班毎に集まって食事のメニューを決めたり、班の目印の旗を作ったり、班とは別に、キャンプファイヤーや肝試しや、食器や寝袋の準備をする係の仕事も、「次は？次は何する？」と興奮気味に聞いて来たり、時には、「先生、もうそろそろ〇〇の準備した方が良いんじゃない？」と児童の方から促されることもしばしばありました。そんな姿を見ていると、キャンプに対する意気込みだけではなく、普段の生活の中で積極性が身につけているように思います。みんなが協力して、良い準備ができました。しおりの表紙を担当してくれたK君の切り絵も素晴らしいです。

毎年、様々な所に変化をつける愛育園のキャンプ。今年最大の変化はテントを自分達で張ろう！と、テントを園から持ち込んだ事です。恥ずかしながら私自身はテントを張った経験もなく不安を感じてしまったのですが、子ども達は違いました。事前に園の中で3回、4回とテント張りの練習をした



のですが、説明書など読まずともどんどん組み立てしまい、回を重ねる毎に15分、10分、7分と一基張る時間がみるみる短縮されて行きました。印象的だったのはその表情で、明るくてイキイキとした顔でテントを張る姿に、「そうか、こういう事を求めているんだな」と、また一つ気づかせてもらえました。練習の甲斐があって、当日は15基のテントをあっという間に張ってしまいました。その後も、食事作りやキャンプファイヤー、肝試しや花火などみんなで楽しく、大いに盛り上がりました。

このキャンプの経験が、普段の生活に活かされる事を期待して、さあ次は愛育園運動会！また、練習や準備を積んで、良い行事にしていきたいと思います。

戸隠キャンプ

まごころ・そよかぜホーム長 石崎早織

今年は天気にも恵まれ8月9日～10日に戸隠キャンプ場へ行ってきました。今年は会場も変え、戸隠イースタンキャンプ場へ2日間過ごしました。いつもとは雰囲気も違い、緑にあふれた中で二日間過ごすことができ、子ども達も思い切り楽しめていたように感じます。毎年恒例の行事になってきましたので、何をしたらよいか、子ども達もだんだんとわかってきているようで準備の段階から中高生にも協力してもらい、いつもよりスムーズに準備を進めることが出来ました。キャンプファイヤーは前日に全員でリハーサルを行い、みんなでキャンプへの気持ちを高めたり、私は今年も肝試し係でしたので、係の児童と相談をし、少しでもみんなに怖がってもらえるよう準備をしました。



私は今年も肝試し係でしたので、係の児童と相談をし、少しでもみんなに怖がってもらえるよう準備をしました。

キャンプファイヤーが終わった後は、中高生と職員と一緒にラーメンを食べながらいつもとは違う雰囲気の中で話をし、楽しい時間を過ごすことが出来ました。そのあとは高校3年生とこれからについて話をする場もあり、頑張っている事、もう少し頑張りたい事など残りの生活について話をしました。参加した児童も残りの生活の中でそれぞれ目標があり、自分の目標を達成できるよう頑張っていることもわかりました。



普段の生活の中ではなかなか聞けない話も、場所や雰囲気が変わるだけでいろんな話ができ、そういう意味でもキャンプという行事はとても大切だと改めて感じました。

キャンプ

調理主任 伊藤 慈子

8月9・10日と、戸隠にみんなでキャンプに行ってきました。キャンプに行く前に、幼児から、高校生までの男女を5班に分け、食事作りや行動を共にするメンバーを決めました。その各班の顔合わせの時に、班の名前と当日の夕食・翌日の朝食のメニューを話し合い決めました。

メニューでは、まず、それぞれが食べたいもの、作りたいものを話し合いました。たくさん出た中には、キャンプでは出来ないものもあり、そんな時は、大きい子達が、アドバイスし、仕切ってくれて、とても頼もしく思いました。

調理の方で、各班のメニューや材料を一通り見て、準備できるものと、買ってきてもらうものをチェックしました。丁度各班に調理員が配置されていたので、準備できるものとして、園にある調味料や、食材を各自自分の班の分を必要な分用意しました。



買ってきてもらうものは、キャンプ前日に各班全員で買い出しに行きました。各班で作るメニューがいろいろで、行く店も違い、そういうところでも各班の違いが出ていて面白いなあと思いました。

当日は、天候にも恵まれ、みんなで楽しくキャンプに向かいました。軽い昼食・グループ活動の後、それぞれに、計画し準備して持ってきた材料で、いざ料理に取り掛かります。材料を洗う・皮をむく・切る・焼く、子ども達みんなでそれぞれ分担し行動します。手際良くできる子、相談しながらも一生懸命やる子、時には取り合いになったり、包丁使いにヒヤリとしたり、普段できない事にみんなワクワク・ドキドキしながらとても楽しんでいました。



夕食は、とてもメニューが豪華な班、バラエティ豊かなメニューの班、こだわりの麺料理を作る班、量の多い班、ちょっと足りなくて他の班からもらって助かった班など、いろいろで

した。他の班に料理を届けたり、他の班を食べ歩きする姿も見られ、みんなが楽しんでいました。外でのBBQは、とても美味しく、またみんなと作りながら食べられることが、本当に楽しくて最高でした。後片付けもみんなでしっかりできました。

とても早い時期から、先生方は、子ども達が楽しめるように、たくさんキャンプの内容について計画してきました。私も、初めて参加させて頂いて、先生方の子供達への思いの強さにとても感動しました。そして子ども達と一緒に楽しむ事ができ、いい思い出になりました。ありがとうございました。

キャンプ児童感想

8月9日10日に愛育園に来て初めてのキャンプに行きました。私は生まれて初めて行くキャンプでもあったのでとても楽しみでした。キャンプ場に到着してから荷物を下ろしたりテント設営、開村式などやる事がとても多く時間があっという間に過ぎて行きました。昼食後はグループ別行動で木工細工で木箱を作りました。そしてそのあとは夕食作りでした。班で協力して作り上げようと張り切っていたけど、実際何をしていたかわからなくて、今になってもっと手伝えよかったです。夕食でお腹いっぱいになった後はみんなで片づけをしてキャンプファイヤーや花火大会で盛り上がりました。天まで届きそうなくらい高く上がった火の子がとてもきれいでした。あっという間の二日間でしたが、楽しむ事ができたと思います。また来年も行きたいです。(中2R・A)



8月9日10日は一泊二日のキャンプを愛育園の皆で行きました。毎年やっているこのキャンプに私は初めて参加しました。心に残った事はいくつもあります。涼しい気候と生き生きとしている自然。自分達で立てたテントに寝た事、班の仲間と協力して食事を作った事、キャンプファイヤーや肝試しや夜先生たちと話した時間です。ラーメンを食べながら色々な先生と話をしました。上を見てみなと言われてその通り空を仰ぐといくつもの星が見えました。真黒い空にきらきら光って見えた星はとてもきれいでした。キャンプに行って班の仲間と協力出来たり、色々な先生といつもとちよっと違う話が出来たり、とても楽しく充実した二日間でした。(中3S・Y)

今年僕は最後のキャンプでした。今年自分達でテントを建てました。難しかったけど練習をしていたので無事建てる事ができました。

夕食作りでは、お肉やイカを焼いてバーベキューをやりました。あと、ラーメンや肉巻きおにぎ

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

りを作りました。美味しかったけど、作り過ぎてしまいました。でも、他の班の人が協力して食べてくれて残飯ゼロで終わる事ができました。

夜、みんなが寝た後、高3のメンバーは先生達と将来の事について話し合いをしました。こういう機会はあまりないので、話しができて良かったです。

二日目もみんなでレクをやりましたが、とても楽しかったです。思い出に残る良いキャンプになりました。

高3 O.K

今年は戸隠イースタンキャンプ場でキャンプをしました。僕は開村式で妖怪ウォッチの赤オニ役をやりました。顔を真っ赤に塗って、みんなの前に出ていき、とても緊張しました。

夜はキャンプファイヤーをしたり、花火をしたり、肝試しをしました。どれも楽しかったけど、肝試しはとても怖かったです。二日間でいっぱい思い出ができました。またキャンプをやりたいです。

小5 M.N

球技大会 県大会

7月末に行われた地区大会を3位で通過し、県大会への出場切符を手にした円福寺愛育園野球チーム。県大会までのわずかな練習時間を利用し、レベルアップを図るためより実践的な練習を行いました。ランナーの動き、守備の動きなど細かく確認をしました。

そして迎えた県大会、初戦は地区大会でも戦った松代福祉寮でした。チーム全体が勝利に向け準備して来ました。県大会では福祉寮に勝つことを、ある種のテーマに位置づけていました。県大会からは中学生も合流し、チーム力も大きく伸びました。

試合が始まると、中学生投手が好投を見せ、3人でピシャリと抑えました。試合の入りは最高です。そして、いよいよ反撃です。地区大会の借りを返さない、子ども達にはっぱをかけます。ようやくフルメンバーで試合が出来、攻撃の波がつながります。ヒットを放ち、フォアボールを選び、そして相手のエラーを突きます。見事に3点を勝ち取り、今シーズン松代福祉寮から初めて先制点を奪いました。チームの雰囲気はとても盛り上がりました。このままの勢いが続けば勝てると感じるほどでした。しかし、地区大会優勝チームだけあって簡単には勝つことができませんでした。次の回投手が突如制球を乱し、連続フォアボール、ヒットを許し、一挙7失点、逆転を許してしまいました。自チームの逆転を信じ、全員で気持ちをあわせ攻撃し徐々に点数を重ねていきますが、2点及ばず勝利を手にする事は叶いませんでした。しかし試合が終わっても子ども達の目は死んでいませんでした。「次は絶対に勝ち3位を持ち帰ろう」と誰からでもなく声が上がります。

3位決定戦は軽井沢学園が相手です。気持ちは初戦のまま、勢いが止まっている訳ではありません



野球監督 酒井悠紀

(平成27年9月10日発行 月刊「円福」469号付録 昭和52年5月25日第三種郵便物認可)

ん、試合開始早々に大量点をもぎ取りました。体もよく動き、声も自然と出ています。流れは完全に自分達にある、初戦と同じような流れになりましたが、ここでも再び突如投手が制球を乱し、連続フォアボールで満塁のピンチです。数点なら取られても問題ない、ひとつずつアウトを重ねるように指示を出しますが、投手はイライラを隠せません。そして交代の決断をしようとした時、マウンドでの投手の悪態にショートを守る高校生が投手を一喝、投手もさすがに気持ちを切り替え、点数は取られながらも力投し、攻撃を切ることができました。その後は投球も安定し、リードを守りきり、勝利3位を手にする事ができました。

4位で終わる事と3位で終わる事は全く違います。その違いを全力で追いかけた子ども達に大きな拍手、そして長い練習期間もよく頑張ったと思います。来年こそは優勝を目指したいと思います。

児童感想

8月6日球技大会の県大会がありました。今年の地区大会は終業式と重なってしまい出場できなかったのが、小学生が自分達のために県大会の切符を辛うじて取ってきてくれたので、今年は一層気合いがありました。初戦は地区大会で優勝した松代福祉寮と戦いました。初回を三者凡退で抑え、攻撃では3点取り勢いに乗りました。しかし3回には四死球を出し過ぎて途中で感情が爆発してしまい、一気に7点を取られ、優勝を逃してしまいました。

3位決定戦では軽井沢学園と戦いました。初回の攻撃で8点取り、その後抑えながらも4点取れて、8対4で勝利、3位になりました。しかし、初戦での態度はダメだったし、まだまだ自分も未熟なところがあるので、来年は身も心もしっかり鍛えて、また県大会のマウンドに立ちたいです。(中学生投手 R・M)

8月6日松本市で県大会がありました。地区大会を3位で通過した円福寺愛育園チーム。この日の初戦は、地区大会でも敗れた松代福祉寮です。地区大会での借りを返すためにも、チーム全体が気持ちを強く持っていました。

試合が始まりました。両チームの投手が力投し初回は0対0。続く2回愛育園チームは3点を取りました。チームの雰囲気はとても盛り上がりこの勢いなら勝てると思いました。盛り上がったけれど逆転されてしまいました。その後も流れを取り戻すことが出来ず、再び敗れてしまいました。とても悔しかったことを覚えています。その時点で優勝は出来ませんが、絶対次の試合に勝ちたいと強く思いました。

試合が終わってすぐにミーティングを開きました。ミーティングで次の試合は勝って帰るとみんな



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

なで確認しました。軽井沢戦では必ず勝とうと約束したとおり、愛育園チームに勢いがありました。小学生のダイビングキャッチ、中学生投手の三振、自分自身もヒットを打ち点数を重ねました。途中投手が崩れ満塁のピンチが起きましたが、ショートを守る T 君が間を空け、厳しくも温かい声をかけて投手が立ち直り、勝利を掴みました。最後の大会で 3 位を取れたので良かったです。(高校 3 年生 K・A)

県大会～中高卓球～

中高生卓球監督 石崎早織

7 月 29 日の地区球技大会では準優勝と成績を取ることができ、県大会に出場が決まりました。県大会までの 7 日間をどのような気持ちで過ごし、練習に取り組むのかを子ども達と話す場面を作りました。みんなそれぞれ県大会に向け目標があり、「優勝旗が欲しい」「高校 3 年生に優勝旗を持たせてあげたい」という思いを聞き、私自身も絶対勝たせてあげたいと強い気持ちを再度持ち、7 日間を過ごしました。またこの 7 日間は暑い日が続き、体育館に居るだけでも汗が止まらない程でしたが、みんなで声を掛け合いながら、自分の苦手な部分を少しでも改善できるように集中して練習に取り組む姿が見られました。

そして県大会前日。壮行会を開いて頂き、大会に向けての決意を発表し幼児さんの応援がありました。そんな中で、中高生から私宛に感謝のメッセージカードを頂きました。本当にサプライズでビックリしたのと同時に、すごく嬉しく涙が出てきました。子ども達一人一人の思いを感じながら、その日の夜ミーティングを行いました。ミーティングでは一人一人の決意を発表してもらい、一人ずつ私からユニホームを渡しました。そして最後に練習で毎日読んでいた「愛の言葉」の中の「がんばる」をみんなで大きな声で読み気合を入れ、当日を迎えました。

大会当日。少し緊張した表情をしている子どももいましたが、一勝でも多く勝つという気持ちで会場へ向かいました。試合が始まると皆で仲間を応援し、試合に出ている選手は一球一球集中して取り組めていました。結果 3 位になる事が出来ました。優勝は出来なかったけれども全員が本当に一生懸命頑張った結果が 3 位という形になり本当に嬉しく思います。また県大会が終わった後は園長先生からサプライズプレゼントもあり、皆で温泉へいき、おいしい食事食べに行きました。本当に楽しい時間を過ごすことが出来ました。

3 か月球技大会の練習に一生懸命取り組み、みんなそれぞれ技術面でも力を伸ばすことが出来たり、チームの仲間をみんなで支え協力して過ごすことが出来ました。また頑張れば必ず結果が出るという事を子ども達自身も感じてくれたのではないのでしょうか。そして私自身子ども達と毎日練習に取り組む、とても充実した時間を過ごすことができ、子ども達に感謝しています。

次は愛育園運動会！！運動会に向けまたみんなで協力していい行事になるよう頑張りたいと思います。

県大会 児童感想

私にとって県大会は最後の大会でした。私はキャプテンの M さんや石崎先生や皆に支えられたから

(平成 27 年 9 月 10 日発行 月刊「円福」469 号付録 昭和 52 年 5 月 25 日第三種郵便物認可)

頑張る事ができました。卓球の練習中雰囲気悪くして注意されることもありましたが、地区大会では中学生は学校だった為出れませんでした。県大会は中学生も出れてとても嬉しかったです。県大会の結果は 3 位でしたが、皆と 3 ヶ月間卓球の練習を頑張った事は絶対に忘れません。3 位で悔しかったけれど、ここまでこれで本当に良かったと思います。(高校 3 年生 H・Y)

県大会前日の壮行会、中高卓球の心が一つになり、やる気のある雰囲気愛の言葉「がんばれ」を大きな声で読みました。キャプテンとしてこれまで仲間と練習してきた思いや、指導をして下さった監督への感謝の気持ちを持って大会に臨みました。私自身が緊張していたこともあり、勝たなければいけない試合も負けてしまい中学生に回すことになってしましました。その中学生は今年初めて卓球を始めましたが、練習を重ねていくうちにどんどんと上達し、初めて出る試合にも勝ち私を助けてくれました。県大会を通して中高生の絆が深まりました。また一人一人の苦手な事に対しても、挑戦し諦めない強さが身についたと思います。県大会で 3 位という賞を貰えたのはこの仲間や、監督のおかげです。最後の卓球とても良い思い出になりました。

(高校生 3 年 M・S)

あおぞらホームだより

保育士兼指導員 佐々木 弘観

球技大会で全員が県大会へと出場を決め、やる気に燃える子ども達に呼応するかの様に長野市の気温もぐんぐん上がり、連日 35 度近い日が続いていました。

学校の行事と重なったため、地方大会に出場する事が出来なかった中学生に対して、小学生・高校生達は「中学生を県大会へ連れて行く」と意気込み、有限実行を果たしました。

県大会への出場が決まると、中学生は「県大会へと導いてくれた仲間へ恩返しをしたい」と語ってくれました。

また、県大会の練習と平行して行っていたキャンプの準備では、寝袋を干したり、テントの部品の確認、薪割りなど様々ありましたが、子ども達は自分が使う寝袋やテントでなくても、暑い中黙々と準備作業を進めていってくれました。そして、連日の暑さを物ともせず、野球の練習で一心不乱に白球を追いかける子ども達。そこには、人に尽くし、思いやる姿がありました。

夏休みも終わり、気持ちを切り替えて最高の 2 学期のスタートを切る事によって、次の行事である運動会でも、球技大会で見せてくれた子ども達の真剣な眼差しを再び見ることが出来ると思います。この暑さに負けず、子ども達にとって最高の行事になるよう職員一丸となって応援、支援していこうと思います。





園内保育だより

夏休みが明け、また園内保育がいざやかりなりました。2学期は長く、行事もたくさんあります。1つ1つの行事を楽しみながら、子どもたちに多くの経験をさせてあげたいと思っております。

2学期も よろしく願いいたします。

2学期始業式を行いました

8/25(火)、園内保育の2学期が始まりました。「夏休み、どんな楽しいことがあった？」の保育者の問いかけに、「〇〇に行きたよ」「マラソンをしたよ」「おどの音が返ってきたよ」。思い出のほ、最近の出来事(おまんこ)について、保育者が「おまんこおまに行きたよ」「おまんこおまに行きたよ?」と問いかけると、「キャンプに行きたよ!」「テントで寝たよ」「おまんこおまに行きたよ」「神様のいるところへ、お金投げたよ!(神社でおさい銭...というところのこと)」、おど、おどさん聞かれました。

2学期始業式は、園長先生や石崎先生にもおいでいただき、背筋を伸ばして良い緊張感の中、行いました。2学期の抱負として「大きな声で歌を歌う」「(うらうらな)歌を歌う」「おともだちと仲良くする」「6歳になったら、おまんこの見本になるようにする」など、目標を発表しました。子どもたちの目標が達成できるように、援助していきたく思います。

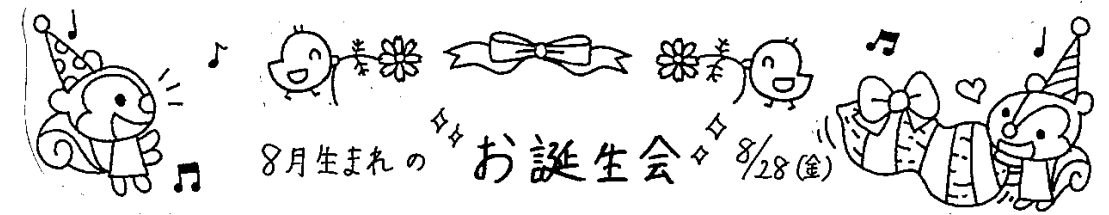
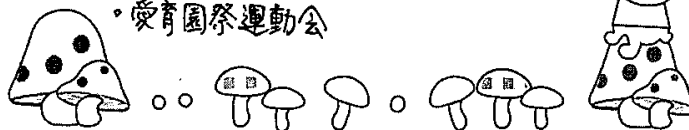


9月のわらい

- 運動会に向けて、さまざまな運動遊びを楽しむ。
- 今まで育てきた野菜の収穫を喜び、その野菜を使って調理する体験をしたり、日頃お世話になっている園の先生方を収穫祭にお招きして感謝の気持ちを表す。

9月の行事

- プールじまい
- 収穫祭
- 愛育園祭運動会

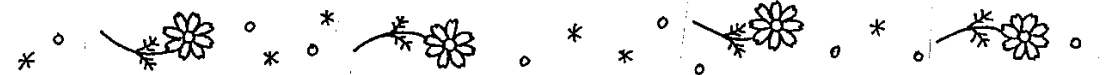


8月生まれのお誕生会 8/28(金)

先日、8月生まれのお友だちのお誕生会が行われました。今回は年長児のSくん。数日前にお誕生日を迎えていたSくんは少しずいっと大きいお兄さんの顔になってきています。

まずは、お誕生会の準備、クッキングのスタートです!!

今子どもたちが歌っている歌の1つに『ほくのミックスジュース』という歌があります。以前、色水遊びをした時に保育者が歌っているのを聞いて「おもしろい!」「うたいたい!」と子どもたちのお気に入りになった曲です。楽しく歌う姿を見て、本物のミックスジュースが作れたら喜ぶかなと期待し、今回のおやつは「ミックスジュース」に決めました。保育者と一緒にバナナやメロンを切り、ミキサーに入れます。牛乳や美味しくなる魔法の粉(砂糖)を足して、最初はSくんがスイッチオン!! 「ガガガガ〜」とすごい勢いでミキサーの中身がまわると、みんなビックリ。作りながら『ほくのミックスジュース』を歌ったら楽しかったらな〜と思っていましたが、子どもたちは初めて見るミキサーに驚いて歌う余裕はなくなるジーンと見続けていました。ミキサーからは甘い匂い。冷蔵庫で冷やして後のお楽しみです♡



さあ、いよいよSくんのお誕生会です。園長先生にお祝いの言葉をいただき、ニコニコの笑顔で「ありがとう」と答えるSくん。自己紹介では「大きくなったら ニンジャのオニオン汁」



☆ になりたいです。」と堂々と発表することができました。お誕生日カードをもらって、自分の手形がとて大きくなつた!と嬉しそうに見せてくれました。Sくん おめでとう!!

☆ その後は職員劇「おきくなたら〜」を観ました。見た目が違ったり、入るよりまじかかないと思っても頑張っている姿、まじかいいことがある、頑張る心が大切だよというメッセージが込められたお話です。子どもたちの心に届いたかな?

☆ 最後に みんなで作った「ミックスジュース」をいただきました。美味しかったね♪ 今度は何を作ろうかな♡

